

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 6 区分
 【発行日】平成21年4月2日 (2009.4.2)

【公表番号】特表2008-531411(P2008-531411A)
 【公表日】平成20年8月14日 (2008.8.14)
 【年通号数】公開・登録公報2008-032
 【出願番号】特願2007-557056(P2007-557056)
 【国際特許分類】

B 6 5 D 21/02 (2006.01)

B 6 5 D 43/03 (2006.01)

B 6 5 D 41/46 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 21/02 B

B 6 5 D 43/03

B 6 5 D 41/46

【手続補正書】

【提出日】平成21年2月9日 (2009.2.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

容器であって、

第 1 の封止部分と第 1 の係合部分を備えた第 1 の上蓋と、

底面、底面から延在する周辺の側壁、開いた上部、第 2 の封止部分、および第 2 の係合部分を有する本体と、

を有し、

前記第 1 の上蓋の前記第 1 の封止部分と前記本体の前記第 2 の封止部分とが互いに係合されたときに、前記第 1 の上蓋と前記本体とが実質的に密閉された収容部分を画定するように、前記第 1 の上蓋の前記第 1 の封止部分は、前記本体の前記第 2 の封止部分と密閉係合でき、前記第 1 の上蓋の前記第 1 の係合部分と前記本体の前記第 2 の係合部分とは係合可能で、

前記上蓋の前記第 1 の封止部分と前記本体の前記第 2 の封止部分はロックリングを有し、前記第 1 の封止部分の前記ロックリングと前記第 2 の封止部分の前記ロックリングとはそれぞれ、内側壁、保持ビードおよび外側壁を有し、

前記第 1 の上蓋の前記第 1 の封止部分の外側壁は、同じ構成をもつ第 2 の上蓋の第 1 の封止部分の外側壁と係合してロックされる、
ことを特徴とする容器。

【請求項 2】

前記第 1 の上蓋の第 1 の係合部分はカットバック部を有し、前記本体の前記第 2 の係合部分はアンダーカット部を有する、請求項 1 に記載の容器。

【請求項 3】

前記第 1 の上蓋の第 1 の係合部分はリブを有し、前記本体の前記第 2 の係合部分は戻り止め溝を有し、前記第 1 の上蓋の第 1 の係合部分のリブは、前記本体の前記第 2 の係合部分の戻り止め溝と係合可能である、請求項 1 に記載の容器。

【請求項 4】

前記第 1 の上蓋の第 1 の係合部分は戻り止め溝を有し、前記本体の前記第 2 の係合部分はリブを有し、前記本体の前記第 2 の係合部分のリブは、前記第 1 の上蓋の第 1 の係合部分の戻り止め溝と係合可能である、請求項 1 に記載の容器。

【請求項 5】

前記本体の前記底面、前記周辺の側壁、および前記開いた上部は空洞を画定し、前記本体は、前記本体と同じ構成の第 2 の本体の空洞内に部分的にはめ込むことができる、請求項 1 に記載の容器。